令和6年度
入校生
募集中

２年で、なりたい自分になる。

Dreams come true

山形県立山形職業能力開発専門校　入校案内2024

「なりたい」を全力でサポートします!

本校は、山形県立の公共職業訓練施設で、前身の施設から数えて77年の歴史と伝統のある専門校です。

少人数単位での実習を中心とした教育訓練により、２年で国家資格である２級自動車整備士と２級建築大工技能士の受験資格が得られます。

これまで受け継がれ、磨き上げられてきた本物の技や技術を基礎にしながら、EVやZEHなどの最新技術にも対応したカリキュラムも設定しています。

地元企業からの信頼も厚く、高い国家試験合格率と14年連続就職率100%を誇ります。

高校生の皆さん、約900年前の山形鋳物に遡る本県のものづくりの歴史に自ら新たな１ページを加えてみませんか。

わたしたちはあなたの「なりたい」を全力でサポートします！

山形県立山形職業能力開発専門校長
石川　和俊

教育の概要

山形県立山形職業能力開発専門校は、本県産業界の発展に寄与・貢献するため、平成５年に県立の職業能力開発専門校として創立されました。平成16年に現在の自動車科、建設技術科の二学科体制に移行し、現在に至っています。

「ものづくり」を育む風土が脈々と受け継がれている山形県において、本校は自動車整備士及び建築大工の即戦力となるスペシャリストを育成しています。

少人数のグループ制により、卒業後の整備工場や建築現場を想定した技能・技術と知識を一体化した、より実践的な教育を行っています。

本校の沿革

昭和 21．6	職業安定法に基づき 山形家具木工補導所（木工科）創立
昭和 23．4	山形公共職業補導所に改称
昭和 29．6	理容科、美容科設置
昭和 31.12	自動車整備科設置
昭和 44.10	県立山形専修職業訓練校に改称
昭和 53．4	県立山形高等技術専門校に改称
昭和 58．4	自動車科に改称、２年制とする
平成　5．4	県立産業技術短期大学校開校
平成　5．4	県立山形職業能力開発専門校創立 （自動車科、理容科、美容科）
平成　6.10	新校舎落成（現在地に移転）
平成 12．3	美容科廃止
平成 15．3	理容科廃止
平成 16．4	最北高等技術専門校の廃校に伴い 建設技術科を移設
令和　5．4	現在に至る

入学者の受け入れ方針
（アドミッション・ポリシー）

(1) 自動車や建築への関心が高く、専門技術・技能を身に付ける意欲と情熱を持って取り組める人。
(2) 同じ目的を持つ仲間を思いやり、共に高め合うことの出来るコミュニケーション能力を有する人。
(3) 「ものづくり」を通して、社会貢献したい人。

職業能力開発専門校の特徴、魅力

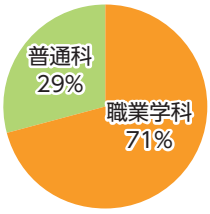
POINT! 1 実習重視の少人数教育

（指導員一人当たりの（定員）学生数８～10名）

実習時間は２年間で1,500時間にも及び、一人ひとりの習熟度格差が起こりにくく、担当指導員と密接なコミュニケーションを取ることができる少人数のグループ制教育を採用しています。

卒業後の整備工場や建設現場を想定した技能・技術と知識を一体化した実学融合のより実践的な教育が受けられます。

令和５年度 入校生



普通科でも大丈夫！

POINT! 2 圧倒的に安い学費

（授業料等は県立高校と同額）

本校の魅力は年間の授業料等の学費が圧倒的に安いことです。基本的には県立高校の授業料及び入校料と同額です。また、本校と同じ学科を有する他県の専門学校との学費のみを比べてもその違いは歴然です。

＜初年度に係る学費の比較＞

（単位：円）

	入校料	授業料(年額)	計
本　校	5,650	118,800	124,450
県外Ａ専門学校（自動車系）	200,000	812,000	1,012,000
県外Ｂ専門学校（建築系）	160,000	900,000	1,060,000

（R5.4 現在）

POINT! 3 国家資格取得が断然有利

（通常４年かかるところ２年で受験可）

本校の場合、自動車科では通常４年かかる二級自動車整備士の受験資格が２年で与えられ、卒業と同時に二級自動車整備士の国家資格が取得可能となります。

また建設技術科でも２年課程を卒業すると二級技能検定（建築大工）の受検資格が得られます。二級自動車整備士試験及び二級技能検定のいずれも卒業生のほとんどが合格しています。

自 動 車 科 ⇒ 二級自動車整備士試験（実技免除）

建設技術科 ⇒ 二級建築大工技能検定（技能照査に合格すると学科免除）

POINT! 4 地元就職に強い

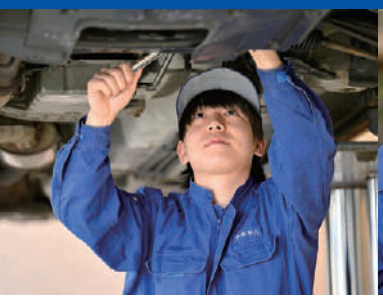
（就職率 100%、本校の求人倍率約６倍）

本校主催の企業説明会や求人面談会の開催、さらに整備工場や建設現場において実際の作業を経験する工場実習や体験研修などを通して、学生の就職活動を全面的にバックアップしています。

その他、就職の受け皿となる団体や企業で構成する本校独自の「協力会」のサポート体制もあり、これまでの就職率は毎年100%を達成しています。

自動車科

自動車整備のプロフェッショナルとして、即戦力を目指す。



自動車科の特徴とカリキュラム

学科の特徴

1年次

(1)自動車の構造を中心に基礎を学ぶ
(2)専門学科の他に接遇(接客法)など社会人として必要な知識を学ぶ
(3)就職活動に向け、ディーラー等において工場実習による現場体験を行う

2年次

(1)具体的な整備実習に加え、実践的な検査・診断作業を学ぶ
(2)外部講師による新技術・新機構の知識と技術を学ぶ
(3)内定先において工場実習を行い、自動車整備士としての心構えを学ぶ

カリキュラム

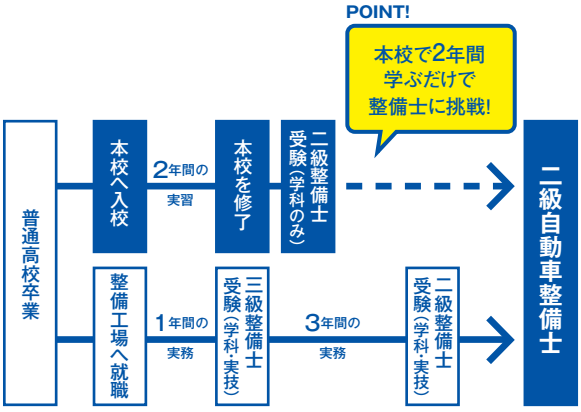
学科

■エンジン(ガソリン、ジーゼル)　■シャシ　■電装品
■電気・電子工学　■整備法　■故障診断　■物理　■内燃機関
■材料力学　■法規　他

実習

■工作作業　■整備作業(エンジン、シャシ、電装品)
■検査・診断作業　■工場実習
■テーマ別実習(総合実習)　他

二級自動車整備士への道



卒業時にチャレンジできる資格

■二級ガソリン自動車整備士(実技試験免除)
■二級ジーゼル自動車整備士(実技試験免除)
■二級二輪自動車整備士(実技試験免除)

２年後、夢をつかんだ卒業生

お客様の期待を越えられるよう日々、考えて仕事をしています。

株式会社スズキ自販山形　サービス

小林 紗菜さん　自動車科　平成31年度卒業
（山形県立山形工業高等学校機械システム科出身）

この学校に入校したきっかけは、デイーラーで働いていた人達を見て、「自分もこんなやりがいのある仕事に就きたい!」と思ったのがきっかけです。元々専門学校に入りたいと思っていたところ、他の学校より金銭面での負担が少なく、通学の立地条件が良かったのも理由の１つです。

実際の学校生活は、とても明るい雰囲気のクラスで、球技大会や秋栄祭などの学校行事で絆も深まり、とても充実した２年間を過ごすことができました。

授業は、座学で専門的な知識を学び、実習で応用する形で、車の知識がなかった私でも安心して着実に学ぶことができました。

また、工場実習では実際の企業に出向き、車を扱うことの大切さや意識の持ち方などを学ぶことができ、貴重な体験ができました。

現在は、サービステクニカルスタッフとして、一般整備から車検まで担当しています。お客様の笑顔をみると、とてもやりがいを感じます。

今後は社内での資格を取り、今まで以上にお客様に安心して任せていただける整備士になりたいです。

仲間と一緒に学ぶ

自動車科2年　**武田 瑠斗さん**（山形県立山形工業高等学校出身）

小さい頃から車が好きで、車に係る仕事がしたいと思っていました。整備士の祖父に憧れ整備士になる事を決めました。この学校を選んだ理由は卒業後の就職率が高く、２年間で国家資格が取得できるからです。少人数制なので、わからない事は先生にすぐ聞く事ができ、基礎的な知識や技術をしっかり学ぶ事ができます。クラスの雰囲気もよく、仲間と切磋琢磨しながら学ぶ事ができます。

先生からのメッセージ

必要とされる仕事

様々な仕事が機械化、自動化されていく中で、どうしても自動化できない仕事、それが整備士だと思っています。機械は必ず壊れます。想定内の故障もありますが、当然想定外の故障もあるわけで、想定外の故障はプログラミングできないため、修理できるのは人間しかありません。これからの未来においても必ず必要とされる仕事、自動車整備をあなたの仕事にしませんか?

自動車科　皆川 征人 先生

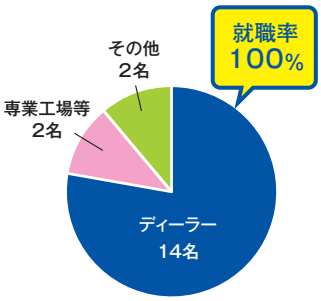
2年間で「基礎」を身に付ける

自動車整備にとって基礎が最も重要です。その基礎からしっかり指導していきますので専門知識のない方でも大丈夫！卒業後に自動車整備士としての最初の第一歩をスムーズに踏み出せるよう０からサポートします。

自動車整備を通して、人として成長していく皆さんを応援しています。

自動車科　谷山　弘 先生

就職について



令和4年度就職先

主な就職先（最近3年）

第一貨物㈱
山形スバル㈱
コマツ山形㈱
山形三菱自動車販売㈱
山形ダイハツ販売㈱
㈱カーサービス山形
㈱ホンダオート天童
山形トヨタ自動車㈱
トヨタカローラ山形㈱
(一社)日本自動車連盟
(独法)自動車技術総合機構
㈱ホンダ四輪販売南・東北
ネッツトヨタ山形㈱
山形いすゞ自動車㈱
㈱スズキ自販山形
山形日産自動車㈱
西東北日野自動車㈱
山形ヤナセ㈱
太平興業㈱
㈱サニックス
山形トヨペット㈱
㈱東北マツダ
フィアドライブ㈱
あいおいニッセイ同和損害調査㈱
㈱ケーユーホールディングス
㈱カーサービス山形
㈲大山ボデー
山交バス㈱
㈱V&Y山形
㈱ウエマツ

社会からの期待

当振興会の会員である県内の自動車ディーラーや整備工場等には毎年、二級整備士の資格を取得した専門校の修了生が多数入社し、活躍しています。企業人となる基礎が出来ていることを前提に新入社員を求めた結果です。就職してからも技術面の勉強が必要となることから、専門校にいる間にその習慣が身に付くよう、大いに学び、大いに楽しんで、悔いのない2年間を過ごしてください。

一般社団法人
山形県自動車整備振興会　会長
山形職業能力開発専門校協力会　会長

鈴木 吉徳 氏

自動車科

エンジニアになる、夢を叶える2年間

［取得できる資格］
二級自動車整備士

工場実習

5日間にわたり、実際の企業で実習を行います。
学校と現場の違いを実感することができる貴重な体験です。

エンジン整備実習

約3,000種もの部品からなるエンジンを分解し、組み上げることを繰り返し、エンジンの仕組みの徹底的な理解を図ります。

テーマ別実習

グループごとにテーマを決め、秋栄祭に発表する課題を製作します。高いチームワーク力が必要な実習です。みんなで協力して作品の完成を目指します。

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月

1年次　1学期　夏期休業　2学期　冬期休業　3学期

自動車整備機器取扱

整備士になくてはならない工具類の名称から使用方法まで、まずは基礎から学びます。

溶接実習

溶接技術は、現場ですぐにでも必要とされる基本技術のひとつです。

企業説明会

企業の採用担当者より直接話をうかがい、就職に向けた活動の第一歩を踏み出します。

マイカー点検教室

マイカーの整備は、自動車を運転する本人の責任。安全なカーライフを送るために、点検はしっかり行いましょう。

校外研修

モーターショーや最新技術の展示会に赴き、日本の最先端工業技術や自動車業界について学びます。

外部講師による実習

業界からのバックアップにより各社のサービストレーナーを講師に迎え、新技術・新機構から板金・塗装まで活きた技術が学べます。

技能照査

実質的な卒業試験。2年間学んできた成果を試されます。合格すると、「技能士補」という称号が得られます。

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月

2年次　1学期　夏期休業　2学期　冬期休業　3学期

自動車整備実習

整備機器を使って、エンジン、シャシ、電装品整備作業を細部にわたって行います。

工場実習

実習は内定先となるため、1年次とはまた違う緊張感を持った体験となります。

二級整備士受験（学科）

本校卒業後に、各自試験会場にて学科試験を受けます。合格すると、晴れて二級整備士に!

テーマ別実習

これまで学んできたことを活かし、1年次よりも難易度の高いテーマに設定して秋栄祭に出展する課題を製作します。

建設技術科

建築業界で活躍できる大工職人として、一人前を目指す。

建設技術科の特徴とカリキュラム

学科の特徴

1年次

(1)建築大工作業の基本について、小グループ制により道具、工具の使い方を学ぶ
(2)木造建築についての材料の見方、使い方を理解し、継ぎ手等の施工法を学ぶ
(3)住宅の仕組みを理解し、屋根の構造や小屋組の工法を学ぶ

2年次

(1)原寸大の二階建て木造住宅を柱に徹底した応用技術を学ぶ
(2)伝統技術である図板、矩計、構造材の施工、管理(工程・品質・安全)を学ぶ
(3)資格取得に向けた検定課題の理解を深め、技能照査合格を目指す

カリキュラム

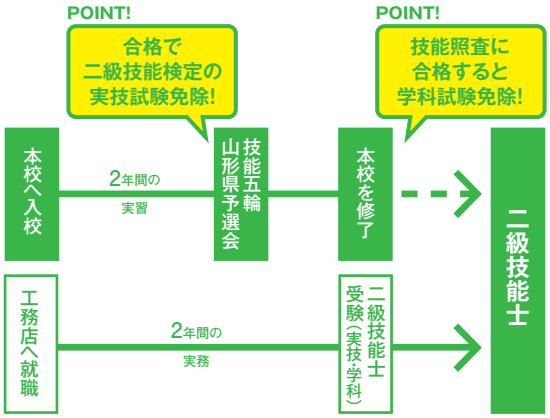
学科

■建築計画　■建築構造　■建築設備　■建築製図
■構造力学　■木質構造　■建築材料　■建築法規
■仕様及び積算　■木造建築施工法　他

実習

■測量基本実習　■機械操作基本実習　■工作実習
■木造建築施工実習　■器工具使用法
■設計製図(CAD含む)　他

建築大工二級技能士への道



在学中にチャレンジできる資格

■建築大工二級技能士(上図参照)
※申請、取得は就職後になります
※令和4年度　実技合格率86.7%

■2級建築施工管理技術検定(第一次検定)
※指定学科(表4)の認定を受けています
※令和4年度(前・後期)合格率40.0%

就職後にチャレンジできる資格

■二級建築士、木造建築士
※通常実務経験7年のところ→試験時0年・登録時2年に短縮
※指定科目の確認を受けています

■建築大工一級技能士
※通常実務経験7年のところ→本校修了の場合4年、二級技能士取得の場合2年に短縮

■2級建築施工管理技術検定(第二次検定)
※通常実務経験8年のところ→2年に短縮
※指定学科(表4)の認定を受けています

■作業主任者(木造建築物組立等、足場の組立等、木材加工用機械)
※通常実務経験3年のところ→2年に短縮

２年後、夢をつかんだ卒業生

自分が周りを引っぱっていき
迷うことのない作業をしていきたい

株式会社感動ハウス
渡邊 彰也さん　建設技術科　令和2年度卒業（東海大学山形高等学校出身）

建築に興味を持ったきっかけは祖父の影響が大きく、大工の技術を身につけたいという思いから、専門学校への進学を決めました。

クラスは、とても楽しく助け合いができる仲間に恵まれ、イベント等ではとても盛り上がり、充実した学校生活を送ることができました。

授業では実際に道具の仕込みから木造二階建住宅製作など様々な実習を行ないました。材料の様々な加工方法を学ぶことができ、技術が１つ１つ自分の身になっていく達成感がありました。今就いている実際の業務で、化粧の部材加工の際、綺麗にするにはどうしたらいいかなど、学校の経験を活かし作業をしています。

現在はリフォームや新築等、大工職についています。先輩方は作業スピードが正確で早いので、自分も先輩方に近づけれるよう日々努力しております。

将来は、迷うことなく自立して考え、周りを引っぱっていけるような存在になれるように頑張っていきたいです。

信頼される大工職人を目指して　建築技術科2年　**佐東　岳さん**（山形県立山形工業高等学校出身）

充実した就職サポート体制と、実際に家を建てる授業内容に興味を持ち入学を決めました。一クラスに数人先生がつくので、わからない事があればすぐ駆けつけて教えてくれます。先生の高い技術力を間近で見る事ができ、教え方も丁寧なので基本的な技術をしっかり身につける事ができます。将来の目標は、お客様に信頼される高い技術力を持った大工職人になりたいと思います。

先生からのメッセージ

次世代を担う大工職人への挑戦

「自分の手掛けた建物が形に残る」「施主の想いを形にする」建築大工の仕事は魅力ある、やり甲斐ある仕事です。本校では2年間の授業を通して大工に必要な座学や技能を、基礎から実践まで丁寧に指導。そして、卒業生は県内外の建築業界で中核として活躍しています。その先輩に続くべく、「大工職人」を志す皆さんの挑戦をお待ちしています。

建設技術科　大嶋 英利 先生

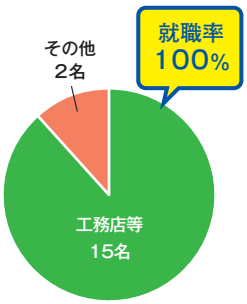
大工職人への第一歩

本校では建築業界で活躍できる大工職人を育成しています。まだ建築を勉強したことがない人でも大丈夫。私たち指導員が基礎から段階的に指導し、2年間精一杯バックアップいたします。

大工職人を目指すやる気のある皆さんをお待ちしております。

建設技術科　若林　信 先生

就職について



令和4年度就職先

主な就職先（最近3年）

いつき建築工房
伊藤建設㈱
㈱ウンノハウス
鷹寿建築
㈱近江建設
大富建設㈱
㈱大沼建築
小野菊蔵建具店
㈱カネソ曽根建業
㈱鎌田工務店
㈱感動ハウス
㈱菊池技建
㈱シェルター
㈱清水工務店
㈲社寺工房上野
㈲スズタカ
㈱チトセ
㈲中川工務店
㈱沼澤工務店
㈲美・中川工務店
北産興業㈱
㈱ボスコ
本間建設㈱
丸櫻建成㈱
丸ト建設㈱
ミサワホーム建設㈱
㈱夢建礎
㈱ヤマムラ

社会からの期待

建築業を支える職人の減少が大きな社会問題として取り上げられる状況の下で、建築業に携わる若い技能者の育成は急務です。この山形職業能力開発専門校の建設技術科では、木造建築大工の後継者を育成し建築業界に輩出しています。建築業界としても、この専門校の卒業生の活躍の場を提供できるように全面的な支援と協力を惜しみません。学ぶ意思を強く持ってこの専門校で積極的に学び、自らの人生、自らの将来を切り開き、「住まいづくり」のプロとして社会に大きく貢献してください。

山形建築組合　会長
山形職業能力開発専門校協力会 副会長
安孫子 正樹 氏

建設技術科

大工になる夢を実現させる2年間

［取得できる資格］
二級技能士

設計製図作業

住宅を建築するためには、各種の設計図の理解が欠かせません。設計製図（CADも含む）にもしっかり取り組みます。

技術研修

企業を訪問し、木の伐採から製材、建築現場やプレカット工場など、住宅建築の一連の流れを見学します。

校外研修

日頃の授業では学ぶことのできない伝統技術を間近に見ることができるチャンス。充実した時間を過ごすことができます。

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年次 1学期			夏期休業	2学期				冬期休業		3学期	

実習スタート

授業では、課題の目的及び手順等を説明してから、生徒それぞれが実際に課題に取り組みます。手工具の使用法を兼ねて継手、仕口の製作から始めます。

道具仕込みと道具箱製作

大工道具を使うには「仕込み」が必要です。入校当初から学んだ道具についての知識、技能を元に生徒個人用に購入した道具を仕込み、併せて道具箱を製作します。

階段製作

少人数のグループに分かれて階段を製作します。階段施工の基本から仕上げまで、一連の工程を学びます。

切妻小住宅製作

入校して3カ月目には、立体的な切妻住宅の課題に挑戦し、施工図・墨付け・加工・組み立て等、住宅建築の基本的な流れを体験します。

木造二階建住宅製作

3間×6間の広さに、入母屋屋根、切妻屋根の外観をもつ2階建てを、原寸で製作します。チームごとに各部屋を担当して進行させます。6月から製作にとりかかり、10月の秋栄祭までに完成させます。

完成住宅の一般公開

完成した住宅は、秋栄祭で発表します。日頃の成果を一般の方に披露する貴重な機会です。

技能五輪山形県予選会

技能士を目指す若者が一堂に会して技を競い合う大会。試験に合格すると、二級技能検定の実技試験が免除となります。また、成績優秀者は、技能五輪全国大会の山形県代表として推薦されます。

4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月

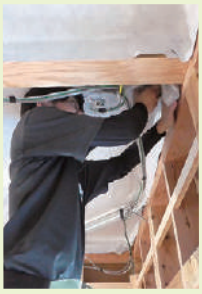
2年次　1学期　夏期休業　2学期　冬期休業　3学期

求人面談会

本校協力会加入企業を対象に、1年生、2年生合同の求人面談会を実施します。企業側の求める即戦力とは何かを2年生は勿論のこと、1年生も求人担当者から話を聞きます。就職への足掛かりとなる重要なイベントです。

体験研修

事業所の協力により、3日間にわたって現場での体験研修を行います。学校とは違う雰囲気の現場には、多くの学ぶべきことがあります。



技能照査

実質的な卒業試験。2年間学んできた成果が試されます。合格すると、二級技能検定の学科試験が免除となります。

校外研修

修学旅行も兼ねた研修旅行。多数の文化遺産を眺めながら、クラス内の親睦もより高まり、思い出に残る研修です。

キャンパスライフ

球技大会（5月）

秋栄祭（10月）

秋栄祭（ものづくりコーナー）

レクリエーション大会（3月）

令和6年度入試情報

	出願期間	選考日	合格発表
推薦選考試験	令和５年８月17日（木）～８月28日（月）	令和５年９月８日（金）	令和５年９月15日（金）
一般選考試験	令和５年11月２日（木）～11月13日（月）	令和５年11月24日（金）	令和５年12月１日（金）

◇募集人員　自 動 車 科：定員25名のうち、推薦選考試験８割程度・一般選考試験２割程度
　　建設技術科：定員20名のうち、推薦選考試験８割程度・一般選考試験２割程度

◇試験科目　自 動 車 科：
　　建設技術科：
　　推薦選考試験は面接、一般選考試験は国語、数学、面接

※定員に達しない場合、２次募集を行うことがあります。詳細は、令和６年度「入校生募集要項」をご覧ください。

入校料、授業料等

①入校料：5,650円　　②授業料：118,800円（年額）
③入校準備金：280,000円（２年間の教科書、工具類、実習着等）
④保護者会費：25,000円（年額）
※いずれの経費もR5.4.1現在の額となります。

支援制度

◇学生寮
遠隔地から入校される方のために安価で学生寮が利用できます。月額36,900円前後（食費・光熱水費込）

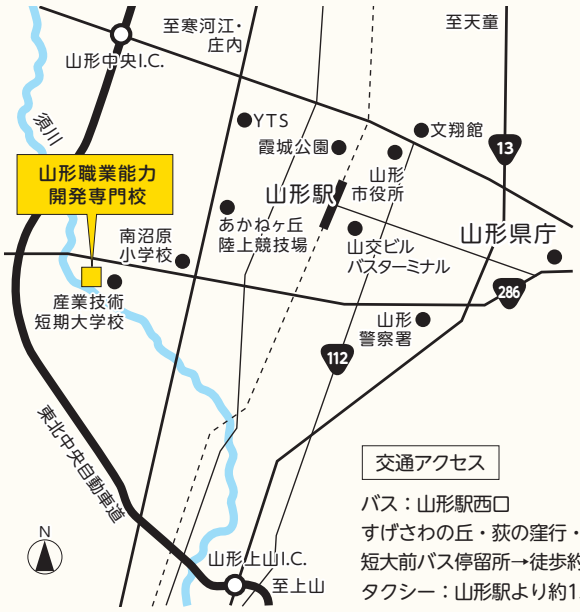
◇授業料等の減免制度
経済的理由等により授業料等の納付が困難な場合、一定要件の下、授業料等の減免が受けられます。

◇雇用保険受給資格者の方
公共職業安定所長から受講指示され入校された方には、雇用保険が延長給付されます。

2023 オープンキャンパス・専門校祭

① 7月15日（土）　オープンキャンパス
② 10月14日（土）・15日（日）　専門校祭（秋栄祭）
※日程は変更になる場合があります。

アクセス



山形県立山形職業能力開発専門校

〒990-2473 山形市松栄二丁目2番1号
TEL. 023-644-9227　FAX. 023-644-6850
URL. http://www.yamagatanoukai.jp/

ホームページ　フェイスブック　YouTube